



第38回 **沖縄の産業まつり**
2014 10月24(金)25(土)26(日) AM 10:00 PM 8:00 奥武山公園・沖縄県立武道館
沖縄の産業まつり実行委員会

美ら島の魅力がギョツと県産品

- 第38回沖縄の産業まつり
- 「ちばりよ〜県産品」ガラス工房 長七屋
- 「元気カンパニー」(株)ぬちまーす
- 第21回沖縄県高等学校ロボット競技大会

郷土の資源で郷土をつくる



琉球セメント

〒901-2123 浦添市西洲2丁目2番地2

TEL098-870-1080(代表)

<http://www.ryukyucement.co.jp/>



株式会社 紅濱

〒901-2123 浦添市西洲2丁目2番地2

TEL098-870-1150 FAX098-870-1079

<http://www.benihama.jp/>

contents

- 2p** ▶ 第38回沖縄の産業まつり第1回実行委員会
- 3~11p** ▶ 第38回沖縄の産業まつり会場ガイド
- 12p** ▶ 第38回沖縄の産業まつり ポスター決まる
- 13p** ▶ ちばりよ~県産品
県産ホテルガラスアクセサリーを
県外・国外へ広めたい
ガラス工房長七屋
- 14・15p** ▶ キラリ! 元気カンパニー「沖縄の北極星 ニメファブシ」
人類の起源に還った「命の塩」を世界へ
株式会社ぬちまーす
- 16p** ▶ 新うちな~むん
沖縄の風土活かした新しい特産品作り
沖縄ハム総合食品株式会社
- 17p** ▶ 正規雇用化促進セミナー
沖縄県商工労働部
- 18p** ▶ 障害者の雇用促進に関する要請
沖縄労働局
- 19p** ▶ 第21回沖縄県高等学校ロボット競技大会
全国大会・九州地区大会への派遣を目指して
- 20p** ▶ 琉球大学工学部後援会からのお知らせ
海洋バイオマス利用による
CO₂削減とエネルギー・資源の創出
- 21p** ▶ 沖縄職業能力開発大学校
「第9回 若年者ものづくり競技大会」
旋盤職種 準優勝、フライス盤職種 準優勝
- 22p** ▶ 沖縄高専だより
「やんばるの産業まつり」と
「沖縄の産業まつり」に出展します
第10回沖縄高専フォーラム・情報交換会・
技術相談会を11月に開催します
- 23p** ▶ 工業技術センターだより
地域新産業創出基盤強化事業による
導入機器の紹介 vol.⑤
- 24p** ▶ トピックス
沖工連青年部会員募集
会員募集のご案内
会員の皆様へ

2014 SEPTEMBER 9 工連日誌

- 3日(水)** 9月定例執行部会
●時間/12:00~13:30 ●場所/工連会議室
- 11日(木)** 第38回沖縄の産業まつり ポスター審査会
●時間/10:30~12:00 ●場所/沖縄産業支援センター
第38回沖縄の産業まつり 広報宣伝審査会
●時間/13:30~14:30 ●場所/工連会議室
- 22日(月)** 第38回沖縄の産業まつり 第1回実行委員会
●時間/14:00~15:00 ●場所/ホテルロイヤルオリオン
- 26日(金)** 工連青年部常任委員会
●時間/16:00~17:00 ●場所/工連会議室

特許等取得活用支援事業

知財総合支援窓口

中小企業など知的財産の有効活用をアドバイスします。

ワンストップサービス

秘密厳守

相談無料

- 知財専門家が窓口常驻
- 知財専門家を派遣
- 知財ニーズの発掘
- 知財に関する支援策の紹介
- インターネット出願を支援

個別対応のため予約が必要です



0570-082100 (有料)

窓口運営時間...8:30~17:15 (月~金) ※窓口支援担当者が常駐しています。

※電話、インターネットでお申込ください。
※ご相談頂いた内容は守秘義務により保護されます。

■内閣府沖縄総合事務局委託事業 /
実施：一般社団法人沖縄県発明協会 ☎098-921-2666

公益社団法人沖縄県工業連合会は「沖縄の産業まつり」や「県産品奨励月間」などの活動を通して、沖縄経済の自立化を目指しています。

●工連ニュースへのご意見ご要望をお待ちしております。Eメールでもご参加ください。
E-mail/info@okikouren.or.jp ホームページ/http://www.okikouren.or.jp

発行所 / 公益社団法人 沖縄県工業連合会
那覇市字小禄1831-1 沖縄産業支援センター6F
電話 (098) 859-6191 FAX (098) 859-6193
編集・印刷 / 有限会社サン印刷 電話 (098) 889-3679

第38回 沖縄の産業まつり 第1回実行委員会



平成26年10月24日(金)～26日(日)の日程で開催が予定されている第38回沖縄の産業まつりの実施に向け、第1回実行委員会が那覇市のホテルロイヤルオリオンで開かれました。

生産者の生産意欲の高揚と県産品への消費者意識の啓発、時代のニーズに対応した新製品の開発・品質向上の促進、さらには県内外市場の拡大を図り、特色ある本県産業の振興に資することを目的に開催される沖縄の産業まつりも38回目となり、今年も数多くの後援に支えられ実施に向け準備が進められています。

実行委員会には湧川昌秀実行委員会会長(工連会長)を中心に、副会長を務める武田智沖縄県商工労働部



実行委員会では、委員による質疑応答・意見交換会も行われました。



第38回沖縄の産業まつり公式ポスターの授賞式では、入賞された各社への表彰が行われました。

統括監、新崎弘光農協中央会会長、その他、産業公社や沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄県商工会連合会といった様々な団体から構成される実行委員が集まり、産業まつり開催にあつての審議が進められました。設置要綱の一部改正について、沖縄の産業まつり実施要領(案)、収支予算書について、審議、承認されています。

今年も奥武山公園、県立武道館を中心に広大な会場内に多くの展示ブース、販売ブースが設置され、昨年好評を得た、水中可視光通信技術を活用した水中癒しプログラム研究開発報告会(産学官連携事業展)、水中癒しプログラム実演会をはじめ、

体験プログラムやワークショップ等のイベントも豊富に用意されています。

第38回のテーマは「美ら島の魅力がギョツと 県産品」となっており、幅広い世代に県産品の魅力をアピールするための公式ポスターも完成しています。ポスターデザインは公募によって選ばれ、参加企業17社17点の作品の中から株式会社近代美術制作のポスターが最優秀賞を受賞しました。沖縄の美しい海をイメージした上品な色合いに大きくデザインされた標語のインパクトが評価されての受賞となりました。

委員会当日に開催された授賞式では、最優秀賞に選出された株式会社近代美術をはじめ、優秀賞、奨励賞

受賞企業担当者に湧川会長より表彰状と副賞が贈られました。

昨年開催の第37回は大型台風の影響に伴う開会式中止等にともない、例年より1日短い、2日間の開催となりましたが、163,000人を動員し、総売上高は前年比8.2%減の1億3266万円、商談などの実績は出展企業34社で150件とまずまずの結果を残すことができました。

湧川会長は「今年は天気にも恵まれ前年よりもさらに盛大なイベントとなるよう願う」とし、委員の団結を求めました。

各団体からの質疑応答や意見交換も活発に行われ、実行委員会のスタートにふさわしい時間となりました。



第38回 沖縄の 産業まつり

会場ガイド [写真は昨年の様子]

■第1会場 沖縄県立武道館(アリーナ棟)
沖縄県推奨優良県産品展

ねらい

県産品の品質の向上や需要拡大等の販路開拓を目的に設立された「沖縄県優良県産品推奨制度」で推奨されている商品を紹介し、広く県民に同制度の周知を図る。

企画内容

- 1 平成26年度推奨商品の紹介及び平成24年度から平成25年度推奨製品の紹介
- 2 優良県産品のガイドの配布、制度紹介パネルの展示
- 3 推奨製品の試食・試飲

実施

沖縄県商工労働部ものづくり振興課
(株)沖縄県物産公社

県産衣料品展示商談会

ねらい

本組合傘下の企業が自社ブランドの紹介を行い、ブランドの認知や商談及び調査を実施し販路開拓や商品開発につなげる。

企画内容

- 1 かりゆしウェアの長袖の展示及び結婚式の衣装の展示(本人用・参加者用)
- 2 テキスタイルデザインの公募の発表と審査を行う
- 3 新作かりゆしウェアの展示
- 4 カタログの配布

実施

沖縄県衣類縫製製品工業組合

平成26年度
沖縄県縫製業新展開促進事業
「かりゆしスタイルブック
発表トークショー」
※10月25日(土)のみ

ねらい

本事業において企画したかりゆしドレスシャツを普及するべく、かりゆしスタイルブックの発表を行い、かりゆしドレスシャツとスーツスタイルのコーディネートを紹介。

企画内容

- 1 かりゆしスタイルブックの発表及びリーフレットの配布
- 2 発表記念に伴い、編集責任者でスタイリストの森岡弘氏を招へいた制作秘書やかりゆしへの想いを語るトークショーとスーツスタイルコーディネート指南の2ステージを行う

【実施日時】

10月25日(土) 13:30～14:30・16:00～17:00

実施

沖縄県ものづくり振興課
(委託先:株)海邦総研

沖縄県工芸コンテンツ産業 活用促進事業PR展

ねらい

平成24年度より実施している「工芸コンテンツ産業活用促進事業」の内容紹介及び成果報告等を行い県民に周知を図る。

技術と真心で奉仕する
有限会社 沖縄長生薬草本社

代表取締役 下地 清吉
<http://www.cho-sei.co.jp>

ISO9001-HACCP、
GMP認証取得



(有)沖縄長生薬草本社
第二工場

ORION DRAFT BEER

沖繩には、
沖繩のビールがある。

ORION
DRAFT BEER

ORION
DRAFT BEER

ORION
DRAFT BEER

飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。のんだあとはリサイクル

企画内容

工芸コンテンツ産業活用促進事業では平成24年度より沖縄の伝統工芸資源を産業活用するため、県内外の博物館・美術館等の工芸品を調査するとともに、それをベースとしたモデル製品開発を実施した。今回のPR展では、開発したモデル製品の展示や事業で集約されたコンテンツの紹介等を行う。

実施

特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター（沖縄県工芸振興センター）

平成26年度 泡盛鑑評会出品酒一般公開

ねらい

泡盛鑑評会に出品した古酒一般酒を一堂に展示し、広く消費者にPRを行う。

企画内容

- 1 泡盛鑑評会に出品した各酒造所の古酒、一般酒、特殊製法酒を一堂に展示
- 2 泡盛のできるまでのパネル展示等
- 3 泡盛ビデオの放映

実施

沖縄県酒造組合

沖縄県中小企業経営革新展

ねらい

経営革新計画の承認を受けた中小企業者が、自社開発の商品、技術、サービス等を広く県民にアピールすることにより、販路

開拓や事業連携等のビジネススマッチングを実現させ、同時に経営革新支援制度の周知を図る。

企画内容

対象企業へ出展を募集し、応募の中から8社ほど選定して開発商品等の展示を行う。当日は各企業からの説明員が常駐し、展示内容の紹介や来場者の質問等に対応する。

実施

沖縄県商工労働部中小企業支援課

第43回沖縄県発明くふう展

ねらい

日常生活から産業技術にわたる分野において、獨創性に富む発明・考案を広く県民に紹介し、その実施化を促進すると同時に相互利用を図ることにより、県民生活の向上及び県内産業の発展に寄与することを目的とする。他、発明の奨励と知的財産の普及啓発活動を行うことにより、県民の知的財産への関心度を高め知的財産力ルチャーの醸成を図る。

企画内容

- 1 優秀作品の審査会
日時：10月23日（木）10：00～
場所：県立武道館線成道場会議室
賞の種類：
特・美 知事賞3作品、会長賞3作品
意匠 知事賞2作品、会長賞1作品
表彰式：10月26日（日）15：30～16：30
- 2 特許・実用新案・意匠の作品紹介
（現物又は模型 ※大型については屋外展示）
- 3 特許等取得活用支援事業紹介
（パンフレット配布等）



地域の企業魅力再発見展

ねらい

県内の中小企業にて展開している、地域の資源を活かして作り上げた商品や企業独自のサービス等の展示紹介を行うことで、多くの県民や企業へ幅広く知ってもらい、販路拡大やビジネススマッチング等につなげることを目的とする。

4 知的財産活用促進支援事業紹介

5 少年少女発明クラブ活動紹介
（作品の展示等）及びものづくり教室

6 一社 沖縄県発明協会事業紹介
（パンフレット配布等）

二社 沖縄県発明協会

実施

（一社）沖縄県発明協会

後援

沖縄県

鉄のリサイクルを通して
社会に貢献する
沖縄唯一の電炉メーカー
（ISO9001 審査登録）



拓南製鐵株式会社

代表取締役会長 古波津 清昇
代表取締役社長 古波津 昇

本社 那覇市壺川 3-2-4 ☎ 098-832-0588
新中城工場 沖縄市海邦町 3-2-6 ☎ 098-934-6822
石灰工場 名護市字安和 2656-2 ☎ 0980-53-8018

信頼と安心のビルメンテナンス



株式会社 **沖縄ゼネラルサービス**

代表取締役 山田 美津枝

本社 沖縄県宜野湾市真志喜 1丁目7-2
（電話）098-897-2604
（FAX）098-897-3855

企画内容

- ①(公財)沖縄県産業振興公社の支援企業の商品展示、紹介など
- ②その他、沖縄県の産業振興に資すると思われる展示、紹介など

実施

(公財)沖縄県産業振興公社

産学官技術連携展

わいわい

本県における大学及び教育・研究機関の保有技術や研究成果及び企業との共同開発による新製品を展示紹介することにより、県民や企業に知ってもらい、共同研究、技術移転、販路拡大等につなげていくものとする。また、多くの県民に科学技術の楽しさ、面白さを伝え、本県の産業発展の原動力であることを伝える。このため、県内の産学官関係機関が一体となって「沖縄の未来を創る産学官連携」を基本テーマとして実施する。

企画内容

① 沖縄県工業技術センターの研究成果・技術支援成果の紹介

工業技術センターの保有する技術や研究成果及び技術支援成果を紹介し、広く県民にその役割を理解していただく。また、本県の産業振興のために、共同研究先との連携及び技術の普及の機会を設ける。

- 工業技術センターの事業概要
- 共同研究成果等の紹介
- 研究成果の移転事例、技術支援及び普及事例の紹介

② 大学及び企業等の研究活動・技術成果の紹介

子供から大人(企業)までを対象とし、大学等の研究成果や企業と大学等との共同研究や技術移転の成果、支援機関との連携事例等を展示することで、本県の各種科学技術や研究成果に関する取組みを紹介する。また、大学等の保有技術や研究成果、企業との共同研究による新商品等を展示紹介することにより、研究活動の面白さや楽しさ、そして産業発展の原動力であることを伝え、進学率向上、共同研究、技術移転等につなげていく。

③ 沖縄型植物工場と新エネルギー

沖縄県内では10力以上の植物工場があり、さらに発展する様相を見せている。そこで、植物工場の現状・課題等を多くの県民の方に知ってもらうことで、身近な植物工場を目指す。また、バイオマスをはじめとした新エネルギーで少しでも解決できるための事例・提案等を紹介する。

- 植物工場の現状及び今後の展開についての展示
- 植物工場体験、試食コーナーの設置
- 新エネルギーバイオマス利用による事例紹介及び相談窓口の設置

④ 沖縄健康、バイオテクノロジー研究開発センター

豊富な加工機器を揃えた研究施設があるま市にある沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センターには、様々な食品加工器や分析機器が設置されており、一般の方にも開放している。これらの機器は、地域特産の素材を活用した食品加工や品質管理等に利用することが可能である。食品加工技術を用いて作製した試作品、分析例を展示することで、新たな商品開発のイメージ作りのきっかけにもなる。

⑤ 沖縄科学技術大学院大学(OIST)の今とこれから

2012年9月に開学した沖縄科学技術大学院大学。これまでの学生の入学状況、キャンパス整備の経過について紹介する。また、当大学院で行われている研究の紹介や今後更なる成果が期待される産学連携プロジェクトについて紹介する。科学体験コーナーでは小さなお子さんが楽しめるような科学体験デモンストラーションを行う。

⑥ 沖縄ライフサイエンス研究センター

平成25年度に設立された「沖縄ライフサイエンス研究センター」は、沖縄県がバイオ・ライフサイエンス分野の科学技術の振興と産業化を目的に、ベンチャーや研究機関等が連携する研究・開発、ビジネス化のための中核施設として設置した県内発のP2レベル対応のレンタルラボである。最新の50種類以上の共用機器は入居されていない企業や研究機関の研究者にも開放している。これらの施設や共用機器及び入居企業を紹介する。

実施

沖縄県公設試験研究機関、沖縄産学官連携推進協議会内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、琉球大学、沖縄県立芸術大学、沖縄職業能力開発大学校、沖縄工業高等専門学校、沖縄TLO、沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター、沖縄科学技術大学院大学、沖縄ライフサイエンス研究センター、NPO亜熱帯バイオマス利用研究センター



県産品をご愛顧頂きありがとうございます。

郷土の資源で郷土をつくる

 琉球セメント

代表取締役社長 西村 聡

ハイウェイ沖縄

中城湾港新港地区 モノづくり展

ねらい

同地区立地企業の様々な製品を県内外へ広くPRすることにより、立地企業の更なる発展と本県の製造業等の拠点となっている中城湾港新港地区の振興を図ることを目的とする。

企画内容

- 1 中城湾港新港地区に立地する企業の様々な製品等を広く紹介する
- 2 PC、モニター等を活用した映像による紹介や会場外においてもチラシを配布する
- 3 電気自動車(EV)を屋外展示し紹介する

実施

中城湾港開発推進協議会
(つるま市・沖縄市)

第2回 輝くうちなあく企業見本市

ねらい

県内の中小企業経営者の方へ同友会の活動内容を伝え、同友会の3つの目的、よい会社をつくるよう、よい経営者になろう、よい経営環境をつくるよう、を広めていく。

企画内容

業種4部会の観光関連部会「守礼ネット会」、建設関連部会「みらい21」、情報関連部会「eおきなわ」、環境関連部会「エコまーる」を中心に同友会や他の活動を紹介する。

実施
沖縄県中小企業家同友会

Jクレジット制度の紹介 及び省エネ体験教室

ねらい

Jクレジット制度を活用した中小企業等による温室効果ガスの排出削減事業の推進及び地球温暖化対策に資するカーボン・オフセットの取組について普及啓発を行い、併せて子供たちにエネルギーについて理解してもらい、省エネを実践しなくなるような体験教室を実施する。

企画内容

- 1 Jクレジット制度の紹介、県内外の制度活用事例の紹介
- 2 カーボン・オフセットの紹介、県内外の先進事例の紹介(パンフレット・パネル展示)
- 3 沖縄の産業まつりの期間内に排出されるCO2(使用電力・来場者の移動に由来するもの)を中小企業等がCO2の排出削減に取り組んだことで創出されたJクレジット(排出権)を用いてカーボン・オフセット(相殺)する
- 4 省エネ体験教室では、発電体験や資料配付により省エネ実績教室を開催

実施

内閣府沖縄総合事務局経済産業部
(沖縄の産業まつりのカーボン・オフセットは同まつり実行委員会事務局である沖縄県工業連合会が行う)

中小企業・小規模事業者 試作品開発等支援事業 (ものづくり補助金) 成果事例展(新)

ねらい

中小企業・小規模事業者試作品開発等支援事業により新商品開発や設備投資の支援を受けた県内のもので、販路開拓、ビジネスマッチングを図るとともに、本県製造業の技術力の高さをPRすることで将来を担う若い世代の人材育成につなげる。

企画内容

同補助金により助成を受けた県内企業(46社※24年度補正採択企業)の中から、特にめざましい成果を上げた企業を10社程度選定し、パネルや開発商品の展示を行う。また、ものづくり補助金の制度内容について紹介する。

実施

沖縄県中小企業団体中央会
(ものづくり補助金沖縄県地域事務局)

沖縄観光 コンベンションビューロー展(新)

ねらい

沖縄のリーディング産業である観光について県民の理解促進を図る。また、近年増加している外国人観光客に対し受入気運を高めるため異文化理解の促進を行う。

企画内容

【観光情報配信】

必要時に、必要な商品を適正な価格でご提供いたします。

人の手のぬくもりが
原点です。

県産品を心で包むお手伝い。

株式会社 **ごまみごころ**

工場 TEL.098-992-1616 糸満市西崎町4丁目7番 FAX.098-992-1155

新発売

琉球泡盛

残波

5年古酒
RYUKYU AWAMORI
**ZANPA
PREMIUM**

5年古酒 35度 720ml

有限会社 **比嘉酒造**
URL <http://www.zanpa.co.jp>

県民へ離島も含めた県内観光情報を無料配信(パンフレット配布、ポスター掲示)

【観光啓発】

メッセージボードの掲示(県民が外国人観光客に対し記入ほか、パスル、輪投げ等のゲームにより異文化理解を促す。)

実施

(二財)沖縄観光コンベンションビューロー

■蓬莱広場(アリーナ棟入口)

環境省委託
バイオ燃料事業展

ねらい

環境省が本県において平成26年度から実施している「バイオ燃料利用体制確立促進事業の意義・内容等について広く周知するとともに、県民等の幅広い支援・協力を得て、県内におけるバイオ燃料(E10・E3)の普及拡大を図り、以て温暖化対策に寄与することとする。

企画内容

- 1のほりによる広報
- 2ビデオ放送等による広報
- 3パネル展示による広報
- 4パンフレット・ノベルティ等の配布による広報
- 5E10・E3に対する理解を深めてもらうためのクイズの実施
- 6E10・E3の社会受容性等に係るアンケートの実施
- 7その他(E10・E3の広報に係るもの)

実施

沖縄バイオ燃料事業推進協議会
(事務局:日伯エタノール株)

■奥武山公園プール

水中可視光通信による
水中スパプログラム展

ねらい

中小企業庁の中小企業小規模事業者もつくり・商業・サービス革新事業(事務局:沖縄地域事務局)で取り組んでいる「海中環境を健康癒しの場として活用した新たな機器とサービスの開発」の成果を県民に広くPRする。

企画内容

- 1高飛び込みプールを活用した運動プログラムデモンストレーション
- 250mプールを活用した水中体験会
※予約制(1日10名限定)
- 3水中癒しプログラムは、音声通信技術による水中呼吸法の指導により、被験者の精神的な落ち着きを促すものである。この技術を活用し、県民から被験者を募集して体験会を実施する。

【実施日時】

10月24日(金)・25日(土)・26日(日)
10:00~12:00・13:00~15:00

【被験者】

- (1)一般申込者(10才以上かつ身長140cm以上)で健康チェックで問題の無い方
 - (2)沖縄県立沖縄盲学校の生徒
 - (3)アリーナ棟実演生中継
- 高飛び込みプールでのデモンストレーションの模様をインターネット経由でアリーナ棟ステージと接続し、音声付きで映像を映し出す。アリーナ棟会場からの質問に対して、水中から返答する。

【実施日時】

10月25日(土) 12:00~13:00

実施

琉球大学
国際潜水教育科学研究所
(株)マリンコムズ琉球

■アリーナ棟ステージ

【10月24日】

●省エネ体験教室 14:00~14:30
●沖縄県中小企業家同友会 14:30~15:00

【10月25日】

●省エネ体験教室 10:00~10:30
●子ども体験教室 10:30~12:00
●水中可視光通信デモンストレーション、アリーナ棟実演生中継
(12:00~13:00)

●かりゆしスタイルトークショー
(13:30~14:30・16:00~17:00)
【10月26日】

●省エネ体験教室
(10:00~10:30・13:00~13:30・
14:00~14:30・15:00~15:30)
●子ども体験教室(11:00~12:30)
●沖縄県中小企業家同友会(14:30~15:00)
●発明くふう展表彰式(15:30~16:30)



ピープルズバンク

Ⓢ 沖縄銀行

頭取 玉城義昭

おいしい幸せ

オキコ

http://www.okiko.net

■第2会場：芝生広場横駐車場
市町村コーナー

ねらい
市町村から推薦された特産品を展示即売し、広く県民に認識してもらおうと同時に、消費者ニーズの把握に努める。

企画内容
県産品の展示及び即売

実施
(公社)沖縄県工業連合会

協力
県内市町村

第17回商工会特産品フェア
「ありんくりん市」

ねらい
商工会のむらおこし事業等により開発された特産品等を中心に、商工会地域逸品を沖縄の産業まつりに集め、流通業者・消費者など多くの県民に、商工会地域産品の良さをアピールし、県内外における販路拡大を図る。

企画内容
①むらおこし事業等で開発された特産品を中心とした、商工会地域産品の展示・即売及びPRを行い、広く県民に商工会地域産品を紹介する。

②新商品紹介や商談など、流通業者との交流を図ることにより、販路拡大を図る。

③特産品コンテストとして出展商品の中から募集を行い、「県知事賞」及び「県連会長賞」を授与することで、出展者の製造・販

売意欲の高揚を図り、商工会地域特産品の販売促進活動に寄与することを目的に表彰する。

④県連ホームページで特産品フェア「ありんくりん市」の案内を行い、県内商工会ホームページを紹介し、商工会地域特産品のPRを行う。

⑤商工会コーナーを設置し、パネルによる商工会事業(特にむらおこし関連)の紹介や各種パンフレット等による県連及び市町村商工会の紹介を行い、商工会のイメージアップを図る。

⑥各商工会で特産品フェア見字ツアー等を企画し、商工会役員及び会員等の特産品に関する意識を高めるとともに、本フェアの集客にも繋げるものとする。

⑦スマートフォン等の携帯端末を活用した電子決済システムを試験的に導入して売上の拡大と購買動向等の調査にデータを活用する。

⑧購買意欲の促進と各地域の物産を広くPRするため、「おたのしみ抽選会」を実施するとともにアンケート調査を実施して回答者から抽選で県内特産品などを進呈する。

⑨出展者に対するヒヤリング調査を実施し、本フェアの事業者評価や商品開発等に関する支援ニーズを把握することによって、効果的な事業実施の参考とする。

⑩各商工会の指導員は「ありんくりん市」出展事業所の特産品のPR及び販売促進等の現場指導を行うものとする。

実施

【主催】

沖縄県商工会連合会、市町村商工会

【後援】

沖縄県、内閣府沖縄総合事務局

県産品展示即売会

ねらい
県産品に対する消費者の認識を深め、県産品の優先使用及びその奨励を図ることにより、需要の拡大を促進し、産業の振興を図る。

企画内容
県産品の展示紹介及び即売

●沖縄県中小企業団体中央会コーナー
●泡盛コーナー他

実施
沖縄県中小企業団体中央会
(公社)沖縄県工業連合会

■第3会場：サブグラウンド
県産建材・石材展

ねらい
県産建設資材等を展示紹介することにより、建材関連産業の振興を図る。

企画内容
鉄筋、セメント、塩化ビニール、アルミサッシ等の県産建設資材及び石材等の展示紹介及び即売

実施

(公社)沖縄県工業連合会

シャッター・ドア・間仕切の“県産品”

修理・製造・販売・施工



沖縄三和シャッター (株)

代表取締役社長 尾上 裕昭

〒901-0212 沖縄県豊見城市字平良84-1

本社 098(840)5538
沖縄北(営) 098(921)3310
石垣(営) 0980(83)3838

ウィズガス 都市ガスも プロパンガスも!

沖縄ガス



環境にもやさしい
ガスで節電!!



☎(098)863-7750 (ショールーム) 那覇市西 3-13-2
☎(098)863-7730 (代表) 沖縄ガス 検索

農林産業展

ねらい

本県の農林産業で生産・製造された製品を展示・即売することにより、農林産物の消費拡大に資する。

企画内容

- ① 農産物野菜、果物、米等）や農産加工品（缶詰、ジュース等）、畜産加工品、肥料等の即売
- ② 苗木等の即売

実施

沖縄県農業協同組合、県内植木・花卉グループ、(公社)沖縄県工業連合会

おきなわ技能展

ねらい

広く県民に対して、ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えることを目的として、ものづくりマイスター等による製作実演やものづくり体験等を実施し、技能・ものづくりへの理解の促進、啓発等を図るとともに、技能士の紹介及びPRを行う。

企画内容

- ① 技能、ものづくりへの理解の促進及び啓発事業
- ② ものづくりマイスター等による製作実演
- ③ ものづくり体験コーナーの実施

実施

沖縄県職業能力開発協会
(沖縄県技能振興コーナー)
(一社)沖縄県技能士会連合会

県産品展示即売会

ねらい

県産品に対する消費者の認識を深め、県産品の優先使用及びその奨励を図ることにより、需要の拡大を促進し、産業の振興を図る。

企画内容

県産品の展示紹介及び即売
(ダンボール製品、太陽光発電他)

実施

(公社)沖縄県工業連合会

■第4会場・川治い 県産品展示即売会

ねらい

県産品に対する消費者の認識を深め、県産品の優先使用及びその奨励を図ることにより、需要の拡大を促進し、産業の振興を図る。

企画内容

一般参観者や商談を目的とするバイヤー等の便宜を図るため左記の種類別に会場レイアウトを設置する。

- 食品・飲料コーナー
- 菓子パンコーナー
- 健康食品コーナー
- 工芸・その他製品コーナー

実施

(公社)沖縄県工業連合会

■第5会場・陸上競技場外・東側 オリオンビアガーデン

■第6会場・テニスコート北側 陶器市

ねらい

県産品に対する消費者の認識を深め、県産品の優先使用及びその奨励を図ることにより、需要の拡大を促進し、産業の振興を図る。

企画内容

陶器の展示即売

実施

(公社)沖縄県工業連合会



meiji
明治グループ

県民の健康と生活文化の創造に貢献する

沖縄明治乳業株式会社

〒901-2502 沖縄県浦添市牧港1-65-1 TEL(098)877-5274



沖縄の海水塩 「**青い海**」

シママース本舗

株式会社 **青い海**
a o i u m i

TEL 098-992-1140

FAX 098-994-8464

<http://www.aoiumi.co.jp>



琉球銀行

頭取 金城 棟啓



ダンボール・パッケージの

総合紙器

(098) 992-1111

大切にします。沖縄の味！

沖縄製粉



代表取締役社長 竹内一郎



JIS 豊床工場
沖縄県推奨優良県産品

特許 マイナスイオン豊
介護用 洗える豊

- 軽量床衝撃音対策豊
- マイトスタートホウ酸塩豊
- フロアー豊「琉球」Aタイプ
- パームシート豊
- フロアー豊「琉球」Bタイプ

株式会社 沖縄敷物商会 沖縄県那覇市若狭3丁目42番1号
TEL (098) 868-3809・FAX (098) 868-2563 <http://www.oki-shiki.co.jp/>



永年の施工実績を誇る

安心・安全・信頼の品質「既製コンクリートくい」
日本工業規格認証取得工場 ● 日本下水道協会認定工場
日本建築センター評定取得工場 ● COPITA 評価取得工場

リウコン株式会社

代表取締役社長 大城 正治

〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町字小那覇1187番地
TEL: 098-945-3778(代) FAX: 098-945-5065

www.riukon.co.jp リウコン 検索



琉球ガラス村
RYUKYU GLASS CRAFT

琉球ガラス工芸協業組合

理事長 大江 聖彌
副理事長 親富祖 徹
専務理事 稲嶺秀信

〒901-0345 沖縄県糸満市福地169
TEL (098) 997-4784

RYUKYU AWAMORI KUMEJIMA'S KUMESSEN

琉球泡盛 久米島の久米仙®

<http://www.k-kumesen.co.jp>

信頼で創るより良い環境

電気設備工事・電気通信工事・消防施設工事 施工



沖電水工事株式会社

代表取締役 小波津 聰

本社 〒900-0016 那覇市前島2丁目1番10号
西原営業所 〒903-0117 西原町字翁長240-1
TEL (098) 868-3282(代)・FAX (098) 868-3282

- オキボール ● 沖縄ハイボール ● 照明・防球ネット用ボール
- 防災無線・携帯電話アンテナ用ボール ● ボール建柱工事施工一式
- 都市景観美化用コンクリート製品全般 ● PHC・CPRCパイル
- 高支持力杭工法及び各種杭打工法の施工 ● C.C.BOX(電線共同溝)
- その他地中化製品 ● テールアルメ工法(補強土壁工法)
- プレキャスト製品の設計・製造販売・施工

沖縄テクノブリード株式会社

代表取締役社長 仲本 幸文

本社 / 〒900-0003 沖縄県那覇市字安謝620番地 TEL (098) 868-2522
海邦工場 / 〒904-2162 沖縄県沖縄市海邦町3番地1 TEL (098) 934-5512



株式会社 なかむら食品

伝統を受け継ぐ、うちな一豆腐。

〒901-1515 沖縄県南城市知念字山里926
TEL. 098-948-2228
www.nakamurasyokuhin.co.jp

なかむら食品 検索

おかげさまで 40周年
マンホール鉄蓋で郷土の環境作りに奉仕する
沖縄鋳鉄工業株式会社

沖縄県リサイクル資材評価認定
マンホール鉄蓋 第17-1号 再生プラスチック第11-2号



代表取締役
眞志喜 実

西原町字小那覇958番地
TEL(098)945-5453 FAX(098)945-5924

十年貯蔵古酒。 琉球の酒 海乃邦 数々の国際賞受賞。

原料/米こうじ 酒量/720ml アルコール分/25度
原料/米こうじ 酒量/720ml アルコール分/43度

「フェニックス・セレブレーション」金賞受賞(ベルギー)
'89「インターナショナルワイン&スピリッツ」コンペティション金賞受賞(イギリス)
'89クリオ・アウォーズ「バックーキング」デザイン賞受賞(アメリカ)
泡盛鑑評会特別功績賞最優秀賞

沖縄県酒造協同組合 0120-43-94-92 http://www.awamori.or.jp

諸君紅いも菓本舗
御菓子御殿

技術と信頼でサポートします。
優良認定工場 **JSA** (社)日本配電制御システム工業会

KDC **長嶺電機株式会社**

代表取締役社長 長 嶺 義 貢

〒901-2134 沖縄県浦添市字港川512-28
電話(098)878-2121 FAX(098)878-7222
http://www.nagamine.e-arc.jp

金 株式会社 **マルキン海産**

代表取締役社長 金城 裕 治



〒901-2123 浦添市西洲2丁目10番地4
電話(098)-875-3310(代)
FAX(098)-875-3080
http://www.e-marukin.com/

鋼材・仮設材リース及び販売・鉄筋加工・金物販売

NK **那覇鋼材(株)**

代表取締役 上原 勉

本 社 / 〒901-0242 豊見城市字高安593-1
TEL.(098)850-7171(代)

湯沸かし代が最大70%減らせます

太陽光熱利用型温水器
タイガーサンライトキング
Tiger Sunlight King 一般住宅用 DAC-300H



盛 **タイガー産業**
098-982-1818

卓越した味わいを皆様の食卓へ。



株式会社 **沖縄ホームル**

代表取締役社長 比嘉 昌治

自然との調和を求めて・・・新しい時代の新しい技術

G 株式会社 **技 建**

代表取締役社長 津波 古 義 秀

日本工業規格表 示認証工場
ISO 9001.14001 認証取得

本 社 〒901-1207 南城市大里字古堅1246番地 電話098-945-2787
ホームページ http://www.gikenpc.co.jp FAX098-945-1181

EM **EM研究機構**

Tel.(098)935-0202 http://www.emro.co.jp
〒901-2311 沖縄県中頭郡北中城村喜舎場1478番地

「第38回沖縄の産業まつり」

ポスターが決まる!

「第38回沖縄の産業まつり」が10月24日(金)から26日(日)までの3日間、那覇市の奥武山公園・沖縄県立武道館にて開催されます。

沖縄の産業まつりは、県内の全産業を網羅した総合産業展として位置づけられ、本県を代表する一大イベントです。9月11日(木)、沖縄産業支援センターにおいて同まつりの広報宣伝に使用するポスターの選定審査会が行われました。

今回の応募総数は17社17点で、6名の選定審査委員で審査を行い、各賞が決定しました。

最優秀賞を受賞した作品が「第38回沖縄の産業まつり」のポスターとして使用されます。

最優秀賞に選ばれた(株)近代美術の作品については、審査委員から「海に囲まれた沖縄から魅力を発信するイメージがあふれ出ており、力強さが感じられる」、「海をテーマとし

て沖縄らしさが表現されている」、「沖縄の青い海が大きく出ており、ブルーと白で上品に仕上がっている」、「沖縄の海をイメージしており、標語も大きくインパクトが強い」などの講評があった。また、同まつりの広報宣伝に関する企画審査会が同日行われ、4社の応募の中から沖縄広告(株)の企画が採用された。企画内容がまつりを盛り上げる内容に相応しいと認められ採用されることになった。

【最優秀賞】(株)近代美術

【優秀賞】第一印刷(株)

【奨励賞】光文堂コミュニケーションズ(株)

【優秀賞】(有)沖縄マーケットプランニング

【奨励賞】(株)宣伝

【奨励賞】沖縄高速印刷(株)



審査委員 (順不同)

- 岸本 一夫(日本グラフィックデザイナー協会) * 審査委員長
- 備瀬 知晶(生活協同組合コープおきなわ食品グループマネージャー)
- 松元 靖(JAおきなわ農業事業本部 統括参事役)
- 平良 菊((一社)沖縄県婦人連合会会長)
- 金村 禎和(沖縄県商工労働部ものづくり振興課製造産業班長)
- 桑江 修((公社)沖縄県工業連合会専務理事)



ちばりよ〜県産品

ガラス工房 長七屋

●沖縄県中頭郡北中城村島袋1615-H

TEL 098-975-6062

http://www.chouhichi.com/



沖縄の自然が持つ色合いを忠実に表現したオリジナルのホタルガラス「翠-sui-」

県産ホタルガラスアクセサリーを 県外・国外へ広めたい

沖縄みやげの定番として観光客からの人気も高いとんぼ玉アクセサリー。ガラス工房長七屋では、とんぼ玉アクセサリーを制作、県内のホテルや民芸品店で販売しています。

ガラス工芸作家の坂本長七氏は奈良県出身。3年間ガラス工芸を学び、独立を機に沖縄へ。「移住当初は右も左もわからず、手探り状態でした。目的地を目指し、道路標識を見ながら車を走らせていたら、とっくに過ぎていたということもありました」と当時を振り返って笑う坂本氏。土地勘も人脈もない沖縄で、リゾートホテルや民芸品店にアポイントを取らずに品物売り込むことから

スタートしましたが、はじめから順風満帆だったわけではありませんでした。「貯金を切り崩していく中で不安を感じたこともありましたが、応援してくれる人々のためにも沖縄に根を張りたいという強い気持ちで歯を食いしばり頑張りました」。

創意工夫と熱意により少しずつ取引先も増え、現在では制作スタッフ6名、販売スタッフ4名、営業2名、デザイナー1名の13名体制で約30社にアクセサリーを納品しています。

多種あるアクセサリーの中でも多量に坂本氏が力を入れているのが「ホタルガラス」といわれるものです。パーナーワークというガラス工

技を身につけて、透明なガラスに心を込めて作ります。

ガラス工房 長七屋
代表 坂本長七氏

芸の技術を用いて作られ、溶かしたガラスを成型する過程で銀箔を貼り付け、透明系の色ガラスを伏せることにより、光が反射して宝石のような輝きを放ちます。大阪発祥といわれ、現在では全国に知られるようになりまし。

坂本氏がホタルガラス制作に着手したのは7年前。取引先の担当者様からの依頼によるものでした。当時、沖縄県内で販売されているホタルガラスのほとんどは県外・国外で製造されており、観光客のニーズに応えられていないのが実情でした。

長七屋では、それまで青色が主流だったホタルガラスに緑や赤といった発色の難しい色を導入。沖縄の自然を表現したオリジナルのホタルガラス「翠-sui-」を手掛けるなど、ホタルガラスの常識を覆す商品を続々発表。制作スタートからわずか2年足らずで前年度の倍近くまで売上高を伸ばしています。

今年10月には産業まつりへの参加も決定した他、各種イベントへの参加も積極的に進んでいる坂本氏。沖縄ブランド・特産品の新定番としてこれまで以上にホタルガラスの知名度を上げていきたいと意欲を高めていました。



人類の起源に還った 「命の塩」を世界へ



株式会社ぬちまーす
代表取締役 高安正勝



「ぬちまーす」を使用した商品は、食品からコスメ商品まで多岐に及び、地元の老舗商品とのコラボレーションや、ここでしか手に入らない限定品まで取り揃えておりネットで購入もできます。



100%沖繩の海水から
抽出された安心・安全の塩

ミネラル含有種類においてギネスブック認定、文部科学大臣賞科学技術賞、特許庁長官表彰功労賞など、数々の賞に輝いた沖繩生まれの塩「ぬちまーす」。今年もモンドセレクションで最高金賞に選出され、これで9年連続受賞を果たしました。

工場をうるま市宮城島の海沿いに構え、太平洋側から汲み上げた海水のみを使用しており、特長として一般的な食塩と比べ塩分は約25%低く、マグネシウム、カリウム、カルシウムを豊富に含んでいます。

また、輸入塩や固結防止剤等の添加物、ミネラル溶出石といった無駄なものは一切使用していません。

一般的な製塩方法は海水を煮で干す製法ですが、それでは塩分とミネラルなどの栄養分が分離してしまいます。しかし、自社開発の「常温瞬間空中結晶製塩法」は海水を霧状に発生させ、常温（約50度）の温風をあて水分だけを瞬時に蒸発させ、海水に溶けていた塩分・にがり（塩分以外のミネラル）を空中で結晶化させることで、海水の成分をまるごと閉じ込めることが可能となっています。これは、日本を含む世界10か国（地域）で特許も取得しています。

工場ではこの製造段階を見学することができます。結晶化した海水が「パウダースノー」のように降り積もる幻想的な光景をパネル越しに観察することもできます。

開発を手掛けた「ぬちまーす」の生みの親である株式会社ぬちまーす代表取締役社長高安正勝氏は、琉球大学物理学科



ニヌファブシ(北極星)とは、航海の時、船の進むべき方向を照らし、教える重要な星ということ、「世の中の目標となる星になりなさい。」という意味を持つ沖縄のことばです。



うるま市宮城島の工場は、太平洋が一望できる絶景ポイントにあり、また、知る人ぞ知る、パワースポットでもある。



直接汲み上げた海水から、「常温瞬間空中結晶製塩法」により、塩の結晶が生まれるまでの工程を見ることが出来ます。



併設する「ぬちまーすカフェ・たかはなり」では、良質な県産食材を用い、ぬちまーすで調味することで旨味が増した健康的な料理を堪能いただけます。

写真：ぬちまーすで漬けた県産豚の「スーチャー」

Corporate Profile

株式会社ぬちまーす

業 種 製塩業、観光工場施設運営
 設 立 1997年3月
 代 表 者 代表取締役社長 高安 正勝
 住所・連絡先 うるま市与那城宮城2768
 098-983-1140
 オフィシャル http://www.nutima-su.jp
 サ イ ト

卒業後、南西航空(現JTA)に入社。技師として勤務する傍ら、様々な発明に力を入れていました。

「子供の頃から発明家に憧れていました。学生時代は生命物理に興味を引かれ、生命の成り立ちについて学んでいました。人類はどうやって生まれ、どう進化していったのか、すべてはそこから始まると考えたのです」。

発明家としての観点から農業に関心をもち、南西航空を退職して蘭の栽培に着手。暑さ・寒さに非常に弱く、水やりにも注意が必要で栽培が難しいとされていた蘭に、水を直接かけるのではなく、細かい霧状にして散布する装置を開発しました。この装置によってビニールハウスで安定的に、そして手軽に蘭を栽培することが可能になり、画期的な発明となりました。

それから数年後、塩販売の自由化をき

科学と生物学の融合でさらなる進化遂げる

「塩というところ、高血圧や成人病の敵と思われがちですが、塩がなければ人間は生きていけない。生物はもとも海で生まれたものであり、塩は生命の源です。海水に含まれるミネラルは妊婦の羊水に近いといわれており、海水の成分そのままを

つかけに、蘭栽培の技術を活かした、全く新しい製塩に乗り出します。

数百回を越える実験を重ね、現在の製塩法の開発に成功。これまでの常識を覆す画期的な製法によって作り出された塩は「命の塩」を意味する「ぬちまーす」と名付け、現在ではテレビ番組や新聞、雑誌で特集が組まれる等、沖縄県内ばかりでなく県外、国外へとその名を知られるようになっていきます。

ぬちまーすとして摂取することでむしろ健康バランスを整えることができます」

沖縄でも問題視されている生活習慣病のおもな原因のひとつとして、慢性的なミネラル不足が指摘されています。ぬちまーすでは様々な研究機関との共同研究により、毎日の食卓でバランスよくミネラルを摂取するための商品開発にも力を入れていきます。

「人間は自らの中に海を持つことで生命を維持している」という考えのもと、聖なる海水をそのまま結晶にするというアイデアが生まれたと話す高安氏。

県内外の飲食店や食品加工をはじめとする企業への製品提供や共同開発による商品製造・販売にも積極的に取り組むぬちまーすを原料とした菓子やドレッシング、マッサージソルトやシャンプー、石鹸といった美容品のラインナップも年々増加しています。製塩工場とレストラン、

ショップが併設する「ぬちまーす観光製塩ファクトリー ぬちうな」には毎年多くの観光客が訪れ、ぬちまーすを使用したヘルシーなメニューの食事や工場見学を楽しんでいます。施設周辺はパワースポットとしても知られており、太平洋を見渡す絶景を満喫しながら散策する人の姿も多く見られます。

トップアスリートにも支持され、多くの愛好者を持つぬちまーすですが、「アイデアが枯渇することはない。今後も挑戦を続け、命の塩ぬちまーすを世界に広めたい」と高安氏はさらなる意欲を見せます。現在は、より効率的に製塩するための新たな手法に取り組んでいるといい、現状に満足することなく常に前進し続ける姿勢が印象的でした。



新うちなーむん紹介

沖縄ハム総合食品株式会社

●本社・読谷工場／読谷村字座喜味2822番地の3
TEL.098-958-4330(代) FAX.098-958-4333
営業部:098-958-4186 <http://www.okiham.co.jp/>



古来より滋養強壮や漢方薬として親しまれているすっぽん。最近ではコラーゲンの豊富さから美容への期待が高まっています。

沖縄の風土活かした 新しい特産品作り

県内ではじめて本格的なすっぽん養殖に成功し大きく報道された沖縄ハム総合食品株式会社。

沖縄の製造業、食品業に多大な影響を与えた功績が認められ、今年度の沖縄タイムス賞も受賞した代表取締役会長長濱徳松氏が3年前、それまでは男性に人気のある食材と思われていた「すっぽん」が美容や健康に関心がある女性の間でも人気が高まっていることを知り、また、本土と比較して日が長く気温の安定した沖縄の気候は、急激な温度変化に弱く日光浴を好む、すっぽんの養殖に適しており、安い価格で高級食材を提供したいとすっぽんの養殖に乗り出したといえます。

オキハムで扱うすっぽんは九州から仕入れた純粋なニホンスッポン(和名)を種とした純血種であり、地元読谷村の地下水を汲み上げた雑菌の少ないきれいな池と、水中の砂に潜り身を潜めるその性質に適し、また、水の浄化作用もあるとされるサンゴ

砂を使用しています。

河川で育った、すっぽんは独特の泥臭さを持ちますが、オキハムでは先の自然豊かな環境のもとで、厳選した高品質な数種類の素材を独自のブレンドによって作り上げた餌を与えて育てることで臭みを解消しました。さらに、出荷直前には、専用の池に移し、3日以上かけて餌を抜き体の中を浄化する「活しめ」のひと手間を加えることで、香りもよく後味のすっきりしたものとなっています。

充分に時間と手間をかけて育てられたすっぽんは、オキハム独自の技術によってレトルト食品に加工され、県内のスーパーや土産品店などで販売されています。高級食材とされるすっぽんを家庭で手軽に味わえるようにしたいという長濱会長の思いが形となったものです。今年8月には那覇市内にすっぽん創作料理店もオープンし、沖縄県内における、すっぽん食文化を広めていきたいとしています。



読谷村の広大な自然に囲まれた養殖場で育てられる「すっぽん」の餌は、独自で数種類の餌をブレンドしたものを使用。そのためか、免疫力が強く、健康なすっぽんが育ちます。



正規雇用化促進セミナー

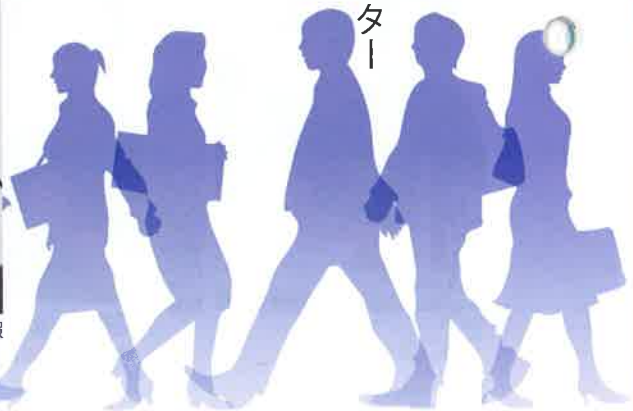
平成26年9月29日(月) 沖縄産業支援センター



沖縄労働局職業安定部長 國代尚章 氏



各企業担当者より「職場改善や従業員の定着等取組企業の事例報告」も行われました。



沖縄県では有効求人倍率（求職者1人当たりの求人数）が0.53と全国平均の0.93と比較して低水準で推移しており、完全失業率も改善傾向にあるものの依然全国的に高く、特に若年層（15歳〜29歳）の失業率の高さが問題視されています。

雇用情勢改善のため、県は沖縄県正規雇用化促進モデル事業（地域人づくり事業）を進めています。従業員の正規雇用化を検討しているものの、コスト面等が課題となり決断できないでいる企業に対し、中小企業診断士や社会保険労務士等の専門家を複数名派遣し、企業の個別的な課題を抽出、経営課題克服、経営力向上、人材育成等に関するチーム支援を実施するのが主な内容であり企業の課題に応じたセミナーの開催やフォローアップ支援を実施し、従業員の正規雇用化支援も行っています。

モデル企業募集・説明会とともに開催された平成26年度正規雇用化促進セミナーには県内企業から多くの参加があり、國代尚章沖縄労働局職業安定部長が講師を務める講演や雇用環境改善に積極的に取り組む企業の事例報告がありました。

國代部長によると、全国的に雇用情勢の改善が進んでおり、現在では概ねリーマンショック以前の水準まで回復しているといえます。沖縄県ではこれまで本土の景気動向にそれほど大きな影響を受けてきませんでした。7月の有効求人倍率が本土復帰後の最高値である0.71倍と

なるなど、急激な改善が見られます。特に女性の労働市場への参入が増加しており、託児所の完備など女性が働きやすい環境づくりも課題とされています。

一方で、一部の業種では人材不足が深刻となっており、全国的な人材獲得競争が苛烈になっています。少子化や沖縄経済の発展により、今後人材不足が広がる見込みであり、人材確保・定着を企業の経営課題として企業の取り組みも重要となります。

職場改善・従業員定着に成功している企業の事例として、有限会社石垣島ショッピングプラザ山内慶介取締役支配人、りゅうせき商事株式会社我如古有沙情報通信部総合通信化教育担当課長代理の両氏が正社員登用による従業員のモチベーションアップや活発な意見交換が可能な職場づくりについて自社の取り組みを報告しました。

セミナー終了後は参加者対象の個別相談やモデル事業募集への申込み受付も行われ、従業員正規雇用化を検討する県内企業向けに事業計画やフォローアップ支援の内容等について詳細な説明がありました。申込参加企業の中から10社が沖縄県正規雇用化促進モデル企業として選定されることとなっており、この事業により、沖縄県における雇用情勢が大きく改善されることが期待されています。

障害者の雇用促進に関する要請

平成26年9月3日(水) 沖縄産業支援センター



沖縄県ほか各要請者団体の求めに対し、(一社)沖縄県経営者協会安里昌利会長は、障害者の新規雇用の機会を広げていく意志を表明。双方がそれぞれの立場から忌憚なき意見を交換しました。



沖縄県
川上好久副知事



沖縄県教育委員会
諸見里明教育長



沖縄労働局
谷直樹局長



(一社)沖縄県経営者協会
安里昌利会長



障害者雇用支援月間に定められた9月初頭、障害者雇用の機運を醸成するとともに、障害者の職業的自立を支援するため、厚生労働省と県との協力の上、沖縄産業支援センター大ホールにて経済団体に対する障害者雇用要請が行われました。

要請者側として、沖縄県、沖縄労働局、沖縄県教育庁、沖縄障害者職業センター等の団体が、要請先団体として、一般社団法人沖縄県経営者協会、沖縄県商工会議所連合会、沖縄県商工会連合会、沖縄県中小企業団体中央会、公益社団法人沖縄県工業連合会等から代表者が出席しました。

要請者を代表して、川上好久沖縄県副知事が挨拶。「障害者の自立・社会参加のため、雇用を重要な柱ととらえ、障害者が意欲と能力を発揮し社会に貢献するよう雇用の場を拡大することによって、全員参加型の共生社会実現に結び付けたい」と障害者の雇用機会拡大に向けた働きかけを求めました。

また、実際に就職機会を求める生徒代表として沖縄県立沖繩ろう学校3年富間龍次君が特別支援学校卒業予定者の雇用確保について、就業体験学習の受け入れや採用の拡大を訴えました。

沖縄県の民間企業における平成25年度の障害者実雇用率は2.12%とな

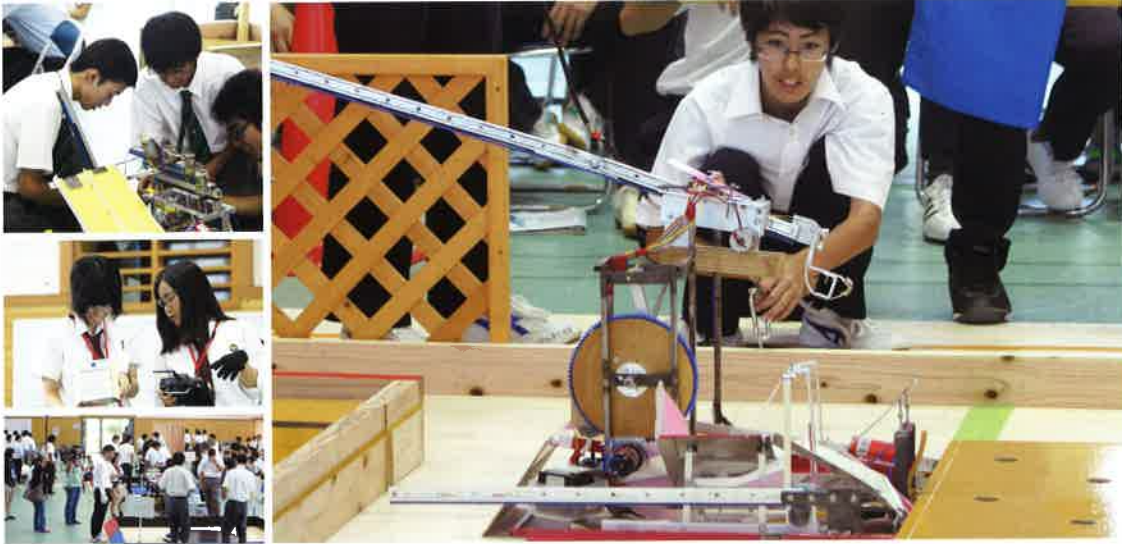
り、全国6位(伸び率0.17%は全国1位)。雇用障害者数は過去最高と報告されています。しかしながら、障害者法定雇用率達成企業は53%と半数近くの企業が未達成となっており、障害者雇用における課題はすべて解決されているとはいえない状況です。

障害者雇用推進に向け、ジョブコーチによる支援やハローワークをはじめとする施設によるチーム支援、障害者納付金制度に基づく助成金等の支援制度が設けられていますが、やはり現状打破に至るまでには充分とはいえず、今後も行政、企業が一体となった取り組みが必要とされています。

安里昌利沖縄県経営者協会会長は、「企業における障害者のひたむきな労働姿勢は他社員にとっても大きな刺激となる」と障害者の就業体験(インターン)、新規雇用の機会を広げていく意志を表明。一方で、要請先団体からは、コストダウンを図るため末端の給与を削減せざるを得ない現実的な問題を指摘した上で行政の細かな対応を求めるなど、要請団、要請先団体双方がそれぞれの立場から忌憚なき意見を交換しました。障害者と健常者が手を取り合いともに働ける社会の形成のため、今後互いに努力を惜しまないと誓い合って会は終了となりました。

第21回沖縄県高等学校ロボット競技大会

平成26年9月12日(金) 沖縄県立美里工業高等学校



【アイデアロボット部門】

- 優勝(教育長賞)
美里工業高等学校
- 準優勝
八重山商工高等学校
- 3位
美里工業高等学校
- 4位
美里工業高等学校
- 5位
那覇工業高等学校

- アイデア賞(産業教育振興会長賞)
那覇工業高等学校
- デザイン賞(工業連合会長賞)
八重山商工高等学校



アイデアロボット競技の部ではデザイン賞(工業連合会長賞)として八重山商工高等学校「ざーなか」が表彰されました。

【ロボット相撲(自立型)】

- 優勝(沖縄電力社長賞)
那覇工業高等学校
- 準優勝
南部工業高等学校
- 3位
美来工科高等学校
- 4位
八重山商工高等学校

【ロボット相撲(ラジコン型)】

- 優勝(沖縄電力社長賞)
沖縄工業高等学校
- 準優勝
八重山商工高等学校
- 3位
那覇工業高等学校
- 4位
八重山商工高等学校
- 5位
那覇工業高等学校

【ロボット相撲(ラジコン型ベーシック部門)】

- 優勝
沖縄工業高等学校

第21回沖縄県高等学校ロボット競技大会が今年も開催され、大会会場となる県立美里工業高等学校に県内各校から出場者が集まり、技能を競い合いました。

全国の専門高校等の生徒が学生ならではの新鮮な発想力と工夫を用いてロボットを製作し、ライバルたちと凌ぎを削る中で、技術・技能の習得、ものづくりへの意識向上を図ることを目的としたこの大会も21回目を迎え、県内で開かれる予選でも年々レベルが高くなっています。

今大会でも県内9校から合計54台(アイデアロボットの部7校・12台、ロボット相撲(自立型)の部6校・14台、ロボット相撲(ラジコン型)の部5校・16台、ロボット相撲(ラジコン型ベーシック部門)の部4校・12台)、計54台の独創性にすぐれたロボットが集結し、大会を盛り上げました。

競技の結果、アイデアロボット競技の部では美里工業高等学校の「美里工業機械科レッド」が、ロボット相撲の部では自立型で那覇工業高等学校「二号機」、ラジコン型で沖縄工業高等学校「OSR」、ラジコン型(ベーシック部門)で沖縄工業高等学校「沖工E」がそれぞれ優勝。アイデアロボットの部では会場となった美里工業高校が優勝含む3

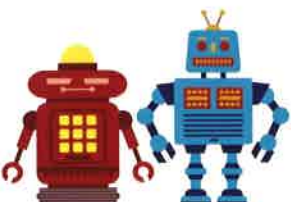
チームが入賞。毎年上位に食い込む強豪八重山商工との優勝争いも白熱した展開となり、ギャラリーを大いに湧かせました。

ロボット相撲の部においても実力が白熱しており、土俵の上での熱戦が繰り広げられました。今回は女子チームの活躍も目立ち、将来的に女性の力が産業界にとっても大きなプラス要因となることを予感させました。

ラジコン型では上位を沖縄工業が大会2連覇達成。優勝は果たせなかったものの、八重山商工と那覇工業も順当に上位に名を連ねており、安定した技術力を誇っています。

アイデアロボットの部上位チームは全国大会へ、ロボット相撲の部では九州大会(全国大会予選)への派遣推薦が決まっており、沖縄県代表としてより大きな舞台での活躍へ期待が高まります。

全国高等学校ロボット競技大会は平成26年11月8日(土)〜9日(日)宮城県セキスイハイムスーパーアリーナで開催予定です。沖縄県の産業界の未来を背負って立つ若者たちの健闘を祈ります。



琉球大学工学部後援会からのお知らせ

海洋バイオマス利用による CO₂削減とエネルギー・資源の創出

瀬名波出 (琉球大学工学部機械システム工学科・准教授)



研究の紹介

沖縄のきれいな海と豊富な太陽の光を利用して海藻を育てることにより、地球温暖化の原因とされている二酸化炭素(CO₂)の削減、さらに再生可能エネルギーの開発や炭素資源の効率的利用を行う「炭素回収システムの研究開発を進めています[図1]。その概要を簡単に説明すると、まず火力発電所やゴミ・汚水処理施設などから出される大量のCO₂を分離回収し、そのCO₂を海藻を育てるための資源として活用します。CO₂を海水に人工的に溶かしこみ海藻に与えることで、海藻の光合成(成長速度)を早めるのです。現在、複数種類の海藻類に対して培養実験を行っており、本手法で作った高濃度のCO₂溶解海水を利用することで通常の海水の場合に比べて海藻の成長速度が2倍以上早まることわかってきています[図2]。

現在は地元の企業[沖縄ガス(株)、(株)青い海]と協力して、下水の処理過程で発生する“消化ガス(メタン発酵ガス)”と呼ばれる可燃性ガスに着目した研究を進めています。消化ガスはその成分としてメタンガス60%とCO₂を40%含みます。このCO₂を分離回収すれば残るのは高濃度のメタンガスとなり、より高品位な再生可能エネルギーとして利用可能となります。さらに回収したCO₂を活用した海藻植物工場のテストプラント建設についても県内外の企業と開発を進めています[図3]。

これまでばらばらに存在していた技術を組み合わせることで、CO₂削減・再生可能エネルギー・海藻培養さらに生活に欠かせない塩や水まで複数の価値を生み出せるのです。島嶼地域である沖縄県における持続可能な21世紀型環境技術開発には、このような工業・農業・水産業さらには物流・観光業まで含めたエネルギー・食料・資源の価値を繋ぐ“スマート化”が必要となります。

昨年度にはこれまでの取り組みを評価されて、仲村巖チャレンジ基金「ロッキーチャレンジ賞」を受賞しました。この賞は同基金代表・仲村巖氏(元日産ディーゼル社長)が「外界指向」志「チャレンジ精神」において世界に通用する人材を育てようと設立したもので、琉球大学として初の受賞であります。また本年の琉球大学工学部研究貢献者賞も頂きました。これらの受賞を励みに沖縄県の産業創成に役立つ技術開発を目指した研究を進めています。



図1「炭素回収システム」



図2 CO₂溶解海水による海藻の培養(オゴノリ)



図3 消化ガスからのCO₂回収とその活用



図4 第4回ロッキーチャレンジ賞の受賞

お問合せ先

琉球大学工学部機械システム工学科

瀬名波出 准教授 (senaha@tec.u-ryukyuu.ac.jp) TEL.098-895-8637・FAX.098-895-8636



「第9回 若年者ものづくり競技大会」 旋盤職種 準優勝、フライス盤職種 準優勝

平成26年7月27日、28日に行われた「第9回 若年者ものづくり競技大会」(以下:競技大会)の取り組み、結果について報告します。競技大会は、厚生労働省及び中央職業能力開発協会が主催しており職業能力開発施設、工業高等学校等において、技能を習得中の企業等に就業していない20歳以下の若年者を対象に競技大会を開催しています。

競技は全14種目あり、当校からは、生産技術科2年の山城将平選手(旋盤職種)、知名定道選手(フライス盤職種)が出場しました。全国各地から旋盤職種28名参加、フライス盤職種25名の参加があり技能・技術について競い合いました。

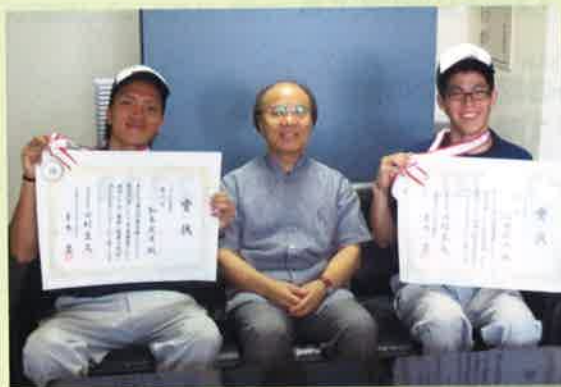


旋盤競技中の山城選手



フライス盤競技中の知名選手

競技会場となる滋賀県立高等技術専門校 米原校舎では、7月27日午後から工具展開、試し加工、7月28日午前 競技が実施されました。競技大会当日は、2名とも若干緊張しましたが、練習の成果を十分に発揮したと思います。



(左:知名定道、中央:仲尾校長 右:山城将平)

結果は、旋盤職種参加 山城選手、フライス盤職種参加 知名選手ともに仲良く準優勝することができました。写真は、校長への結果報告の写真です。

昨年度の敢闘賞に引き続き、素晴らしい結果を2名の学生が残してくれました。今後とも学生の技能・技術向上のため競技大会、技能検定等に取り組んでいきます。

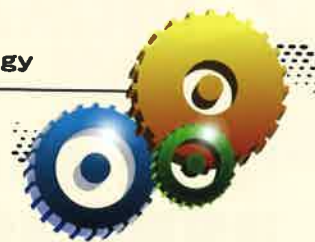
なお、山城君は応用課程進学、知名君は県内企業への就職が決まっています。今後も沖縄のものづくりを支えてくれることでしょう。

お問合せ先

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 **沖縄職業能力開発大学校** (援助計画課/大根)

〒904-2141 沖縄県沖縄市池原2994-2 TEL. 098-934-6282 FAX. 098-934-6287

●メルマガ会員募集中 <http://www.jeed.or.jp/merumaga/index.html> ●URL <http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/>



「やんばるの産業まつり」と 「沖縄の産業まつり」に出展します

沖縄高専では、10月11日(土)、12日(日)に名護市民会館にて開催される「第30回やんばるの産業まつり」と、10月24日(金)～26日(日)に奥武山運動公園・沖縄県立武道館にて開催される「第38回沖縄の産業まつり」に出展します。

当日は、本校の保有技術や研究成果等、並びに企業等との共同研究、技術移転の成果を展示し、新しい知の現場や産業の芽を紹介する予定です。

また、「沖縄の産業まつり」では、小中学生及び親子を対象に科学技術の面白さ楽しさを伝えるため、こども科学教室を開催します。

●催事の詳細につきましては、
下記までお問い合わせ下さい。

第10回沖縄高専フォーラム・情報交換会・技術相談会を 11月に開催します

沖縄高専では、沖縄工業高等専門学校産学連携協会の平成26年度実施事業の一環として「第10回沖縄高専フォーラム・情報交換会・技術相談会」を下記のとおり開催いたしますので、多くの方々の参加をお待ちしております。

なお、沖縄高専産学連携協会の会員の方々は、改めてご案内する予定です。

●催事の詳細につきましては、
下記までお問い合わせ下さい。

●テーマ／「沖縄高専との連携をととして」

●日時／平成26年11月21日(金)

沖縄高専フォーラム…………… 15:00 開始予定

情報交換会・技術相談会… 17:20 開始予定

●場所／ロワジールホテル那覇

沖縄高専フォーラム…………… 3階・龍宮の間

情報交換会・技術相談会… 1階・ファンテジー

住所: 沖縄県那覇市西3-2-1 TEL: 098-868-2222

※「第10回沖縄高専フォーラム・情報交換会・技術相談会」のお問い合わせは、沖縄高専総務課研究連携推進室までお願いします。

催事について
の問合せ

沖縄工業高等専門学校総務課研究連携推進室(伊波・前山・前里)

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古905番地

TEL: 0980-55-4070(直通) FAX: 0980-55-4012 E-mail: skrenkei@okinawa-ct.ac.jp

沖縄工業高等専門学校産学連携協力会事務局(担当:喜屋武)

〒905-2192 名護市字辺野古905番地 TEL: 0980-50-0133・FAX: 0980-55-4012

E-mail: sangaku@m1.cosmos.ne.jp ホームページ: <http://www.cosmos.ne.jp/~sangaku/index.html>



地域新産業創出基盤強化事業による導入機器の紹介 vol.⑤

～新規試験研究・検査機器導入により、工業技術センターの基盤を強化しました～

本事業は、国際物流拠点型産業の発展可能性を背景に、沖縄地域における成長産業の育成や新産業の創出を図るべく、地域の中核的な試験研究機関の基盤強化を行うことを目的としています。

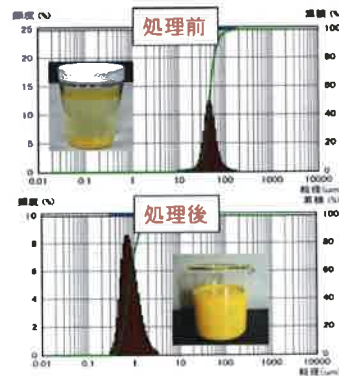
そこで、内閣府沖縄総合事務局より委託された株式会社トロピカルテクノセンターと一般社団法人トロピカルテクノプラスで事務局を設け、要望・技術課題等から10機器を選定し、各機器は沖縄県工業技術センターに整備されます。(前回の6・7・8・9月号にて8機器は紹介されております。)

整備した試験研究等設備については、広域的な活用に向け、説明会・セミナー等を通じ、周知を図って参ります。企業の皆様はじめ、積極的な活用をよろしくお願いいたします。

●ホモジナイザー(乳化装置)

液体製品中に含まれる粒子に高い圧力を加えて微砕化、均質化する装置。実製品に近いサンプル・試作品作製能力、生産機との整合性をもち、シンプルな構造、分解洗浄可能であるのが望まれます。商品の開発や品質改善において、飲料や化粧品素材等の均一分散化試験等の評価が見込めます。

三丸機械工業(株)
HL2-CH 2連式



●真空包装ホットパック

加熱した状態で真空パックができ、加工時間が短縮されます。従来通りの真空パックも可能。滅菌・パッキングが連続しているため、様々な保存評価試験が容易に可能です。



(株)TOSEI
チャンバー式 ホットパック機

HACCPに基づく衛生管理により適合

微粉碎を目的とした装置で、回転ディスクに取り付けられたハンマーがその外周にセットされたプレートの内側を回転しながら衝突することで微粉化されます。粒度が安定し、処理能力が大きいことが特徴。熱に弱い素材には適さない場合があるが、様々な種類の素材の粉碎に応用できる試験加工機です。



お問い合わせ先

沖縄県工業技術センター 企画管理班(担当:花ヶ崎)
TEL:098-929-0111 FAX:098-929-0115 E-mail:hangskit@pref.okinawa.lg.jp

沖工連青年部会 会員募集中!

青年部会は親睦会や勉強会等の活動を通して、工業界の青年層が気軽に情報交換できる会を目指しています。

- 加入資格 / 公益社団法人沖縄県工業連合会会員の役員及び従業員で45歳迄
- 会費 / 入会金10,000円、年会費20,000円
- 会員数 / 22名(2014年9月現在)



お問合せ先:公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 (担当:小浜)

公益社団法人沖縄県工業連合会 会員募集のご案内

公益社団法人沖縄県工業連合会は、昭和28年5月に「沖縄県における工業の育成及び振興を図り、もって県経済の発展に寄与する」ことを目的に創立されました。現在では、製造業を中心に約400社の会員を有し、毎年7月の「県産品奨励月間」や「沖縄

の産業まつり」などをとおして、県内製造業並びに関連産業の振興発展に寄与するため鋭意努力しております。本会の主旨に賛同していただける方なら規模の大小は問いませんので、ご入会をお待ちしております。お気軽に事務局までお問合せください。

会員への主なサービスならびに特典

- 機関誌「工連ニュース」や電子メール等による各種情報サービスの提供
- 経営者や従業員を対象とした講習会、技術・経営セミナーなどの案内
- 公設試験研究機関との連携による技術力向上に関する事業などへの参加
- 県産品奨励月間事業(7月)における国・県・市町村、食品・建材大口需要者などに対する要請活動への参加
- 「県産品マーク」の取得
- 本会のインターネットホームページによる会員企業の紹介
- 「沖縄の産業まつり」の出展料の優遇
- 従業員表彰制度の活用(優良従業員・創意工夫功労者・優秀技能者)
- (一社)沖縄県発明協会との連携による産業財産権に関する情報提供など



会員の皆様へ 「工連ニュース」で自社の商品をアピールしてみませんか?

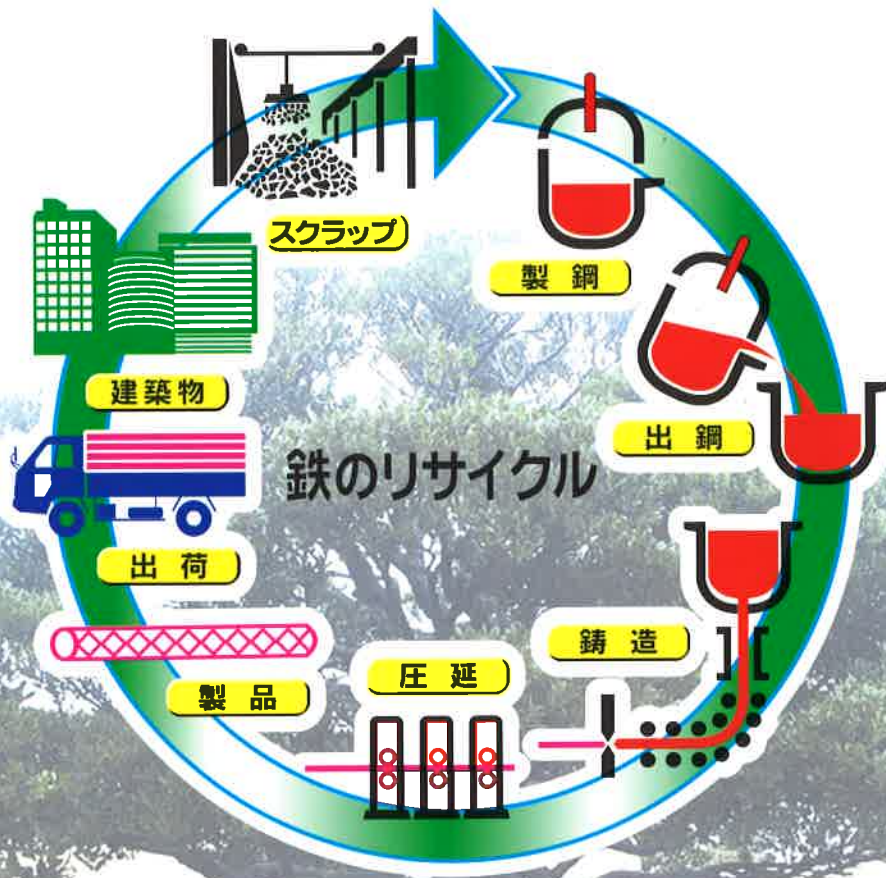
会員の皆様方には平素より本会機関誌「工連ニュース」の事業活動についてご理解・ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

「工連ニュース」では会員サービスの一環として会員の新品などを紹介するコーナーを設けています。事業のPR、新商品の紹介などに積極的にご利用下さい。



●お問合せ先
公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 担当: 座間味

づまんちゅのチカラ。



資源には限りがあります。鉄も大事なリサイクル資源です。鉄のリサイクルを始め、半世紀、これからも沖縄経済の発展に寄与するとの使命感と、ゼロエミッション社会の実現のため邁進してまいります。



拓南製鐵株式会社

<http://www.takunan.co.jp>

本社：沖縄県那覇市壺川3丁目2番地4(拓南ビル3F)
 TEL098-832-0588 FAX098-832-0586
 新中城工場：沖縄県沖縄市海邦町3番26
 TEL098-934-6822 FAX098-934-6833
 石灰工場：沖縄県名護市字安和西部間2656-2
 TEL0980-53-8018 FAX0980-53-8067

沖縄ガス ショールーム

沖縄ガス ショールーム

ゆ〜くる

YOU-KURU



1F▶ 展示スペース

- ガスコンロ展示スペース ●システムキッチンコーナー ●ウィズガスハウス ●比較・実演コーナー
- キッズスペース&授乳室 ●ミストサウナ体験コーナー ●「涼風」ブース ●創エネ・省エネコーナー

2F▶

クッキングスタジオ・セミナー室・会議室

「広々スペースに最新の商品を随時展示中。
 ガスのある快適な暮らしをご提案いたします！」

クッキングスタジオでは
 「お料理教室」を随時開催中。



パナソニック Panasonic
アウダースタンド
 あらゆる暮らしに
TOTO LIXIL
 Link to Good Living



「ゆ〜くる」へのお問合せはこちら

沖縄ガス ショールーム

ゆ〜くる

YOU-KURU

開館時間:10:00~17:00 休日:年末年始・旧盆(ウーケイ)

☎(098)
863-7750
 (ショールーム)

沖縄ガス

ウイズガス 街に暮らしに ちゅらエネルギー



沖縄県那覇市西3-13-2

TEL:098-863-7730 (代表)